

## 印西市地域公共交通総合連携計画に基づく事業計画策定業務委託

## 1. 業務の目的

平成 22 年度に策定した印西市地域公共交通総合連携計画に定めたバス交通事業の実施に向けて、具体的な事業内容について検討し、各事業の実施計画等を取りまとめ策定する。

## 2. 業務の内容

## (1) 平成 23 年度ふれあいバス実証運行の運行計画策定および評価・運行見直し

## ① 運行計画の条件設定

運行ルートやダイヤ等の運行計画を策定する上で考慮すべき条件について設定する。

## ② 事業評価ガイドラインの策定

評価指標（利用者数、収支率、満足度等）、評価基準等を設定し、事業評価を行うためのガイドラインの策定を行う。なお、ガイドラインは PDCA サイクルに基づき継続的に実施するものとし、できる限り簡易に計測できる指標とする。

## ③ 利用状況の集計、分析

事業評価ガイドラインに基づき、利用者数や収支率等について集計・分析を行う。また、利用者へのヒアリングまたはアンケート調査を実施し、満足度等の評価を行う。

## ④ 運行内容の見直し

利用状況の分析結果の状況に応じ、運行内容の見直しの方向性または運行内容の見直し案について提案する。

## (2) 平成24年度以降の事業実施計画の策定

### ①バス公共交通のサービス改善計画の策定

昨年度の住民アンケート結果（利用しない理由や利用しても良いサービス水準）や公的路線、補助路線、民間路線等の運行形態を踏まえ、便数、時間帯、運賃等について、本市における最低限確保すべきサービス水準や地域別に目標とするサービス水準を策定する。

### ②市内バス路線の再編計画の策定

前項のサービス改善計画で定めるサービス水準を考慮し、地域特性（利用者層、利用目的等）や公的路線、補助路線、民間路線等の運行形態の特徴を踏まえ、重複路線を解消した路線再編を検討する。

また、公的路線、補助路線、民間路線における運賃格差の解消策について検討する。さらに再編ルート、経費、需要見込み、採算性について検討し、再編計画を策定する。

### ③利用促進策の策定

バス交通の利用促進策として考えられる以下の項目について検討し、利用促進計画について策定する。

- ・バス情報発信策（バスマップ、ホームページ等）
- ・乗継拠点の整備（屋根、デジタル表示等）
- ・利用してもらう機会や動機を与えるような観光や商業施設、イベントと連携した企画乗車券
- ・モビリティ・マネジメント

### ④持続性のある公共交通の構築の検討

持続性のある公共交通の構築を目指し以下に示す項目について検討する。

- ・民間事業者の活力を引き出し、収益増にもつなげる事業形態（インセンティブ契約等）
- ・市民や地元企業等との協力や必要に応じた負担等について検討し、地域が支え育てる公共交通の仕組みづくり
- ・収入源の検討（協賛広告、ネーミングライツ）
- ・市民、交通事業者、行政の協働による自治会運営形式バスの導入

⑤公共交通不便地域の解消策等の検討

路線バスの再編においてバス事業として解消されない公共交通不便地域の抽出を行う。公共交通不便地域の住民アンケート調査結果を踏まえ、新たな交通システム（デマンド、乗合タクシー等）の導入や民間送迎バス・スクールバスとの連携や活用の可能性について検討する。

(3) 協議会の運営支援

活性化協議会およびバス事業者会議（仮称）の運営支援として以下の項目を行う。

- ・ 会議資料の作成
- ・ 会議運営支援
- ・ 議事録作成

＜業務フローチャート（案）＞

